

食の共創セミナー

いま、猛暑、雨不足、集中豪雨、鳥獣被害などによって危機的状況にある在来作物。
栽培はもとより、種の継承さえも危ぶまれる中でこれを回避する策はあるのか、
また、在来作物の食材としての面白さを共有します。

「非常事態に直面する在来作物」



vol.2

日時	10.7 火 14:00-16:00
会場	出羽庄内国際村 2階研修室 (鶴岡市伊勢原町8-32)
対象	鶴岡市内の料理人・生産者 20名
内容	【座学】在来作物が直面する危機 【実習】各地の在来ナスの特徴と食味体験

参加
無料



申込締切

10.3 金

「各地の在来カブを用いた調理実験」



vol.3

日時	12.2 火 14:30-16:30
会場	鶴岡市宝谷「 ^{はこ} 匣」(鶴岡市宝谷菖蒲池218)
対象	鶴岡市内の料理人・生産者 15名
内容	【実習】各地の在来カブの調理特性を実験 そのメカニズムを解説 【見学】宝谷カブの圃場



申込締切

11.28 金

※各内容は現時点での予定です。在来作物の生育状況などにより変更になる場合があります。



講師：江頭 宏昌 教授 (山形大学農学部)

福岡県北九州市出身。京都大学大学院農学研究科修了。同年に山形大学 農学部助手として庄内へ。2015年より同大学教授に就任。2023年3月に惜しまれながら閉会した“山形在来作物研究会”の会長を務め、県内のみならず全国の在来種の専門家として活躍。



主 催：鶴岡食文化創造都市推進協議会
TEL 0235-35-1185 担当：池野
企画運営：合同会社Maternal